



オーストラリア直送レポート

Vol.4 2024.8.14 登校3日目

ドリップストーン校グループ／教育委員会社会教育課 本林
吉備中学校 平野

パーマストーン校グループ／教育委員会社会教育課 児玉
八幡中学校 熊ノ郷

【ドリップストーン校グループ】

8時30分に集合した研修生たちは学校にも慣れ、リラックスした様子でした。最初の1時間は、ドラマの授業に参加しました。まず、アイスブレイクとして与えられたいくつかの文字や記号から英語を読み取るという活動を行いました。ポキャブラリーの関係でなかなか苦戦していましたがチームで意見を出し合い、答えを導き出すチームや手をあげて全体に向けて答えを発表する研修生も複数人いました。その後、ギターやサックス、ドラムがあたかもそこにあるかのように箱から楽器を取り出すところから表情豊かに演奏するところまでの演技をグループで行いました。研修生はなれない形態の授業に戸惑いながらもチャレンジしていました。



その後、バスに1時間ほど揺られフライングクロコダイルにむかいました。驚くことにステイ先でペットとしてワニを飼っているという研修生や、仕事の関係で子どものワニを家で保護しているため触ったことがあるとっている研修生もいたようです。ドリップストーンの生徒たちと共に船に乗り込み、茶色

く濁った川に繰り出しました。川幅は広く、流れは非常に緩やかでした。遠くからクロコダイルが泳いでくる姿や棒の先につるした肉の塊めがけて立ち上がる姿は迫力満点でした。研修生たちも興味津々でクロコダイルが立ち上がったときには歓声がわいていました。ワイルドな見た目に反してチャーミングでユーモラスなスタッフが終始場を和ませてくれていました。



バスはその足でプールにむかいました。平日の 13 時ということもあり、我々以外には利用者はまばらでした。用意してある昼食やリンゴを食べ、着替えを済ませ、プールに我先にと駆け出しました。中には日本から浮き輪を持ってきた生徒もいて楽しみにしていた様子が伺えました。プールには 3 つのスライダーがあり、二人ペアで滑るスライダーが人気でした。スライダーに何度も入ったり、広々としたプールで仲間やステイ先の生徒たちと泳いだり記念撮影をしたりと各々自由に楽しみました。15 時には各ホストファミリーが迎えに来てくださり、各々の家へと帰っていきました。



残り半分となった海外研修ですが、研修生たちは現地の生徒ともよい関係が作れているように見られました。お互いに一緒に行動するように誘い合う姿が印象的でした。これからも安全に注意しながらより多くの体験を通して学びのある研修にしていきたいです。

[パーマストン校グループ]

今日は、1時間目は高校で美術の授業を受けた後、ワイルドライフパークという動物園に遠足に行きました。

昨日までは、研修生は登校すると先生が集まる部屋で待機していたのですが、現地校の生徒との交流ができないなと思い、校庭のベンチで授業まで待機することにしました。コロナ以前の研修であれば、朝、日本人の生徒のところに「日本のこと教えて」とか、「私、日本の～に興味があります」など話しかけてくれるパーマストンの生徒も結構いましたが、今朝は一人もいなくて、数年間交流ができていなかったことの影響を感じました。



1時間目は美術の授業でした。想像上の動物を考えて、粘土でそれを作りました。普段の授業であれば、数時間かけて取り組む内容なので、出来るかなと心配しましたが、研修生はみんなとても頑張っていて、完成とまではいなくても、構想から粘土での製作まで、わずか50分ほどで自分の作品を作ることができました。

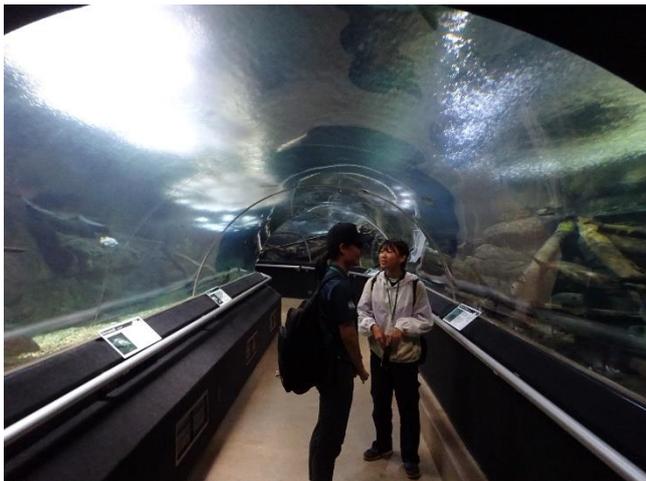


美術の授業が終わった後、バスでワイルドライフパークという動物園に行きました。この動物園では、広大な敷地の中で様々な動物や鳥、魚を見ることができます。いつもは鳥のショーが見られるのですが、今日のショーはお休みということで、飼育員さんが鷹を見せてくれるだけでした。「ショーを見なかったなあ」と残念がっていた研修生もいました。

夜行性の動物たちを見たり、カンガルーを間近に見てさわったりした後、昼食を食べました。初めは「これは何だろう??」と恐る恐る食べていた研修生達も、オーストラリアの昼食にすっかり慣れた様子で、美味しくいただきました。

昼食の後は、園内を走るシャトルバスに乗って、小さな水族館に行きました。小さな水槽の中の綺麗な魚から、水槽のトンネルを悠々と泳ぐエイやバラマンディまで様々な魚を見ることができました。

ビラボン（オーストラリアの言葉で、流れのない、水が溜まった所という意味）に住む鳥や動物を見て、大きなエイやバラマンディの餌やりを見た後、帰る時間になりました。ワイルドライフパークは本当に広くて、今回は全部を見ることができず、「もっと歩いてまわりたいなあ」という研修生もいました。



すべての動物を見ることはできなかったけれど、ノーザンテリトリーの自然を感じながら、動植物のことを学んだ良い1日となりました。

明日は中学校での1日授業です。学校に行くのもあと2日。現地の生徒と交流できる機会もあとわずかになってきました。明日は年齢の近い生徒達との授業なので、積極的に交流ができるといいなと思います。

